

## (社) 日本造園学会関東支部 第6回学生デザインワークショップ

### 「サマースタジオ 2010」参加者募集

今年度も(社)日本造園学会関東支部企画にて、第6回学生デザインワークショップ「サマースタジオ 2010」を開催いたします。

造園、ランドスケープを学ぶ学生が集い、デザインを通じてお互いの感性を高めあい、議論を深め、社会的な課題に対して具体的な提案をまとめます。

また、若手実務者との交流や、講習会、発表会における真剣な議論は、今後の貴重な財産となるでしょう。

興味とやる気のある方は、奮ってご応募ください。なお、ミーティング、講習会の聴講も歓迎いたします。

### テーマ 『千年のランドスケープ』

「持続可能な都市」「低炭素型社会」を実現するためのランドスケープデザインのかかわり方は建築物に関わる緑化など、装置化、表層化しつつある。都市を持続させるためには大地の状態に深く関わり、次世代に受け継ぐべき基盤となりうるランドスケープを考える必要がある。

以下の2つの視点でランドスケープデザインの具体的な提案を行う。

#### 1. 強度のある「媒体」としての大地のデザイン

絵巻物のように「紙媒体」に描かれた情報は千年以上前に記録されたものにも関わらず、現代でも我々の感性を刺激する。都市が刷り込まれる大地を時間軸あるいは機能軸をつなぐ媒体として考え、その様相をデザインすること。

#### 2. 永続性を担保する「しくみ」のデザイン

伊勢神宮の式年遷宮のように20年周期での更新をすることで千年以上継続している場所もある。都市にかかわる更新のしくみをランドスケープ的な視点で考えること。

#### ■概要

##### ○目的:

空間形成におけるデザインの役割を重視し、そのプロセスにおいて、他大学の学生と議論を深め、自主的に考え、学ぶ機会を設ける。これにより、将来を担う幅広い視野を持った人材育成の一助とする。また、将来のランドスケープデザインの市場を生むような提言とプレゼンテーションを若い世代の実務者と学生が強く認識して取り組む。

##### ○ワーキング:

計3回のデザインセッション毎に、調査・計画・設計のプロセスを経て、図面、パネル、模型等の製作を行う。

##### ○対象地:

首都圏における、「海岸」「河川」「低地」「崖線」「丘陵」。具体的な場所の設定はデザインセッション毎に各チームで行う。

##### ○運営:

\*チーム編成:5人/チーム、3~5チーム程度を編成。

過去の参加大学／関東学院大学、多摩美術大学、千葉大学、東京農業大学、東京理科大学、  
日本大学、明治大学、ほか

＊デザインセッション制

・1セッション：実働約2週間×3回

・各チームはセッション毎に、異なる5つの対象エリアから1つ選択し、デザインの提案を行う。

＊チューター制度：若手実務者による指導、助言を行う。

＊実務者のプレゼン：チューターなどの実務者が初回の説明会やセッション毎の発表日に各対象エリアとそのような場所における設計・デザインの取組みについてプレゼンを行う。

＊ミーティングおよび作業場所：東京農業大学を中心に各大学にて。

○スケジュール：

7.17（土） ミーティング（概要説明）1STセッション始動

8.7（土） 1STセッション発表、2NDセッション始動

8.21（土） 2NDセッション発表、3RDセッション始動

9.5（日） 3RDセッション発表、対象エリア別優秀案選定

10月 プレ発表

11月 関東支部大会発表

終了後 メディア発表、および、平成23年度造園学会全国大会にてポスター展示

■応募方法

○資格：学校、学部、学年は問わない。

○レポート：下記レポートをEメールにて担当事務局宛にお送り下さい。

レポートはチーム編成の検討資料となります。

1) 学校、学部、学年、氏名、メールアドレス（PC用が望ましい）

2) 以下に対する意見レポートを添付。（各600字程度）

a. テーマにに対する問題意識

b. サマースタジオへの参加動機

○締切：2010.06.30（水）必着

■問合せ、提出先

○担当事務局：187-0022 東京都小平市花小金井1-9-2-201

（株）プレイステア内 霜田亮祐（関東支部幹事企画担当）

TEL：042-460-5801 FAX：042-460-5802

E-mail：ss2010.jila.kanto@gmail.com（本企画専用アドレス）